





安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。



注意

- キヤスティング（投げる）の時は、ペールを起こすことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで、周囲の人にけかをさせるおそれがあります。
- キヤスティング（投げる）の時、ストッパーのある機種では、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけかをするおそれがあります。
- ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っているとハンドル等が逆転し、手に当たりけかをするおそれがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。
- 糸で指を切るおそれがあります。
- メッキや塗装等の表面処理が剥かれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けかをする恐れがあります。
- 回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けかをするおそれがあります。



ACERATION SW

取扱説明書

SHIMANO



このたびはシマノ・アセレーションSWシリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。シマノが新たに提唱するSRとは、SMOOTH・SILENT・STRONGのSに信頼性（RELIANCE）という軸でスピニングリールの完成度を徹底追求する姿勢の象徴です。アセレーションSWシリーズの機能を十分に引き出し永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願い申し上げます。

使用後のご注意

- ### ■保管上のご注意
- 海でのご使用の後は、「使用後のご注意」「水没時の緊急措置」の方法で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外してください。
 - リール本体の塗装面には傷をつけないようご注意ください。傷の部分から腐食するおそれがあります。
 - 塩入フォームを本体に密着させたまま保管されますと腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で密閉された空間（自動車のトランク、ダッシュボード）に長時間放置されますと腐蝕を起こす可能性がありますので、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。
 - リール本体からオイルが浸み出ることがあります。布袋に入れて保管することをおすすめします。

■必ず竿から外して下さい。

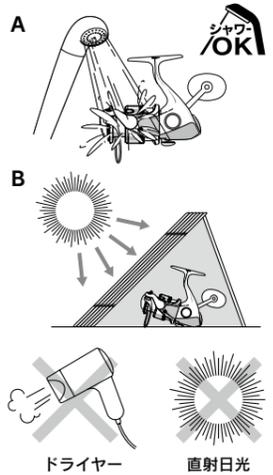
使用後は必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例えば水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

■水洗いして下さい。

使用後はシャワーでの洗浄が可能です。まず、ドラッグ内に水が入らないように、ドラッグを締め込んでください。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いしてください。（図A）温水はグリスを洗い流す恐れがありますのでおやめください。又、同様の理由で、リール本体を水没させないでください。

■乾燥させて下さい。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。その際、ドラッグをゆるめると効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引き起こします。お避けください。（図B）



水没時の緊急措置

1. 水抜き…回転枠を外して内部に侵入した水を抜いてください。
 2. 水洗い…上記「■水洗いして下さい。」の項目をご参照ください。
 3. 乾燥…上記「■乾燥させて下さい。」の項目をご参照ください。
 4. オイル噴霧…上記「■注油して下さい。」の項目をご参照ください。その際、上図を参照してローラクラッチにもオイルの噴霧を行ってください。
- お願い
 以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、最寄りの小売店にお預けください。

定期メンテナンス

■ベアリングの塩噛み

S A-RB（シールド耐塩水ベアリング）はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する『塩噛み』を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-RB ごと交換しなければ完全に解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

■弊社サービスへご依頼下さい。

リールの状態は、使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、**最寄りの販売店**を通じて直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。

■注油して下さい。

オイルとグリスは右図Cを参考にしていただき、それぞれ間違えないように噴霧してください。1度の噴霧（注油）時間は約1秒です。尚、グリス、オイルはシマノ純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

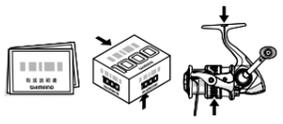
SP-003H（メンテスプレーセット）	¥1,900
SP-013A（オイルスプレー）	¥1,050
SP-023A（グリススプレー）	¥1,100
DG01（リールドラッグ専用グリス）	¥800

※最寄りの販売店にてお問い合わせ下さい。上記は2010年7月現在の品番及び税抜本体価です。

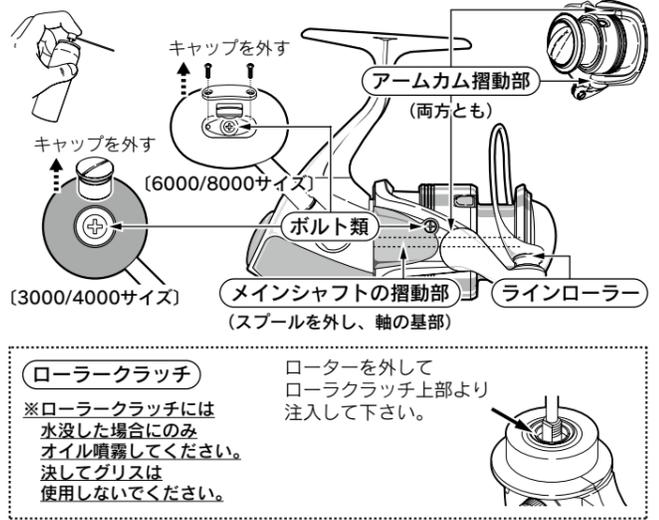
- ※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。
- ※長く噴霧させると逆流します。決してグリススプレーは使用しないでください。
- ※ローラクラッチ部にはグリスを絶対に注入しないでください。逆転防止が効かなくなり大変危険です。
- ※注油の際は、オイルが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。
- ※ドラッグ部にはシマノドラッグ専用グリス（上記参照）以外は塗布しないでください。ドラッグ専用グリスを必要な方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。
- ※ドラッグ内部は精密箇所につき、ご自分で分解されると性能面での保証はいたしかねます。基本的に弊社サービスへお預けいただくことをおすすめしますが、ご自分でメンテナンスされる場合は、グリスの塗布量には充分ご留意ください。ドラッググリスは、ごく薄く塗布する程度に留めてください。アセレーションSWは新型のカーボンシートを採用しています。従来のフェルト、ピュアカーボンとはグリスの塗布量が異なります。

商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧いただき、製品名と製品コードをお知らせください。（例/製品名：ステラ 1000S 製品コード：SD83B012）
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。
- 修理に出される時には、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例/ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。（例/製品名：ステラ 1000S 商品コード：02425 製品コード：SD83B012 部品番号：2 部品名：スプール）
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
- 商品コード/製品コードの位置
 取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



図C 《オイル（スプレー）使用部品箇所》



※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。

■ハンドルノブの取り扱いについて

ハンドルノブには、特殊な材料を使用しており、油分によって侵食されます。メンテナンス等で誤って付着した際には中性洗剤等で洗い流してください。

- ### ■お願い
- ・使用後ハンドルを回転させると、上下のスプールターン部で「カチ、カチ」と音鳴りすることがございますが、故障ではありません。カム式オシレートの場合、多少音があっても正常です。
 - ・スプールを水没させ数時間放置しますと、ドラッググリスが水に流れ出てしまいます。この方法でのラインの塩抜きはおやめください。
 - ・シンナー、ベンジン等の揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。

夢屋パーツ取り付け可能

●夢屋タイプ

品番	ハンドルノブ
3000/4000サイズ	A
6000/8000サイズ	B

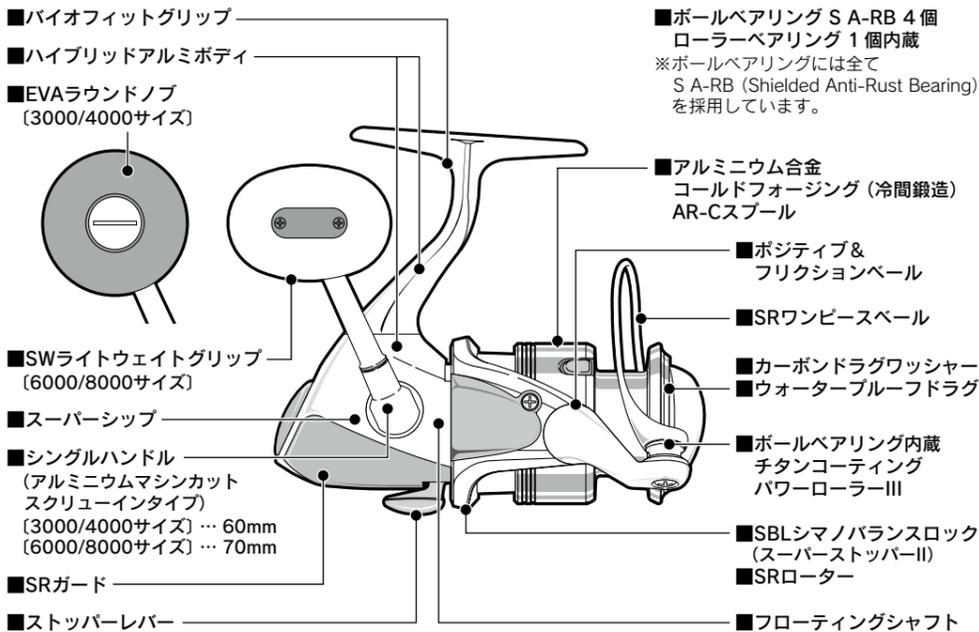
※詳細はシマノホームページでご確認ください。

標準付属品

取扱説明書・分解図・布袋・糸止めシール・スプール調整ワッシャ（下図）

- ① 0.5mm×2枚
- ② 0.25mm×2枚

各部の名称



仕様

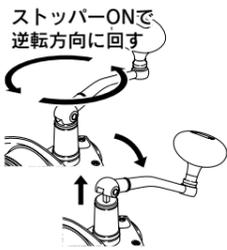
品番 商品コード 製品コード	ギア比	ドラッグ力 (N/kg)		自重 (g)	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	ベアリング数 (ボール/ローラー)	ナイロン糸巻容量 (号-m)	PE糸巻容量 (号-m)
		実用	最大					
3000 02738 5SD86F030	5.1	68.6 / 7	98.0 / 10	350	74	S A-RB 4 / 1	2.5-180 3-150 4-100	1-400 1.5-270 2-180
4000 02739 5SD86H040	5.1	68.6 / 7	98.0 / 10	350	77	S A-RB 4 / 1	3.5-170 4-150 5-125	1-500 1.5-320 2-210
6000HG 02490 5SD86M062	5.8	78.4 / 8	117.6 / 12	580	109	S A-RB 4 / 1	4-240 5-190 6-160	2-440 3-300 4-210
6000PG 02491 5SD86M064	4.7	78.4 / 8	117.6 / 12	580	89	S A-RB 4 / 1	4-240 5-190 6-160	2-440 3-300 4-210
8000HG 02576 5SD86P082	5.8	78.4 / 8	117.6 / 12	565	109	S A-RB 4 / 1	5-275 6-230 8-160	3-410 4-300 5-250
8000PG 02577 5SD86P084	4.7	78.4 / 8	117.6 / 12	565	89	S A-RB 4 / 1	5-275 6-230 8-160	3-410 4-300 5-250

●製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●ボールベアリングには、従来のA-RBをシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にしたS A-RBを使用しています。

使用前のご注意

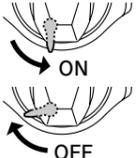
■ハンドルの折りたたみ方法

ハンドルはネジ込み式になっています。たたむ時はストッパーレバーをONにして、ハンドルを数回逆転方向に回転させるとハンドルがゆるみ、折りたたむことができます。のぼす時はたたむ時と逆にします。(図は右ハンドルの場合です。)
※この時ハンドルをゆるめ過ぎると、本体より抜け落ちますのでご注意ください。



■ストッパーレバーの操作方法

通常は、ストッパーONで使用します。
●ON
逆転止めが作動し、ハンドルは正転方向にしか回りません。
●OFF
逆転止めが解除され、ハンドルは正転、逆転どちらの方向にも回ります。



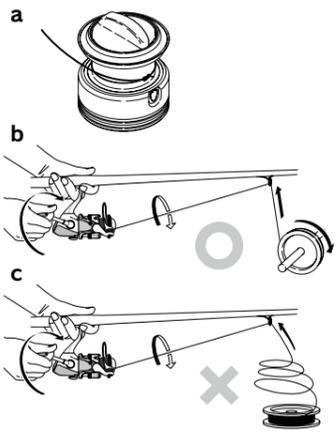
■糸止めシールの使用方法

このリールにはPEライン用に糸止めシールが入っています。ラインの巻き始めに下記のようにお使いください。このシールを使用することでライン巻き始めのライン滑りがなくなり、PEラインをスプールに確実に巻くことができます。
1. PEラインのチチワをスプールに締め込みます。
2. この締め込んだラインの結び目の上にシールをピッタリと確実に貼ります。(指などで強く押しつけてください。)
3. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。(最初は少しゆっくと巻くようにします。)
4. PEラインは滑りやすく、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちり巻くことが必要です。



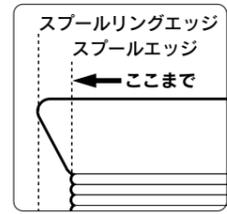
■糸の巻き方

1. ドラッグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図a)
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度(スプールに巻かれた糸にツメを押し込めない程度)なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図b) 図cのようにならないようご注意ください。
尚、PEラインを巻かれる時は、事前にPEラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱(抵抗熱)によってPEラインが劣化するのを防ぐためです。



●推奨糸巻容量

スプールエッジまで巻かれることをおすすめします。(右図) スプーリングのエッジの位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合はAR-Cスプールの性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



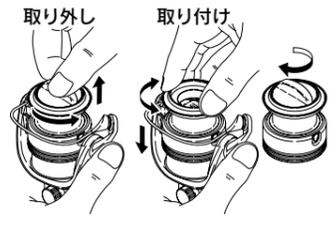
■糸ヨレについて

ラインローラー(パワーローラーIII)は、糸を巻き取る時に、糸のヨレを軽減させる役割をもちます。但し、下記のような状況によっては、ローラーの性能を発揮できず、糸ヨレが発生する場合があります。

1. もともと糸がヨレている時。
2. 仕掛けが回転して、ヨリがかかる時。
3. 非常に軽い仕掛けを巻き取り、ローラーが回転していない時。
4. その他糸にかかるテンションが低い時。
5. ドラッグを多用した時。
6. キャスティング飛距離が短い時。

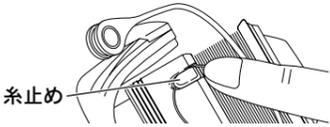
■スプールの着脱方法

●取り外し方
ドラッグノブを反時計回りに外れるまで回して下さい。
●取り付け方
スプールを左右に廻しながら、完全に底当たりするまで押し込んで下さい。ドラッグノブを時計回りに回すと締め付ける事ができます。



■糸の止め方

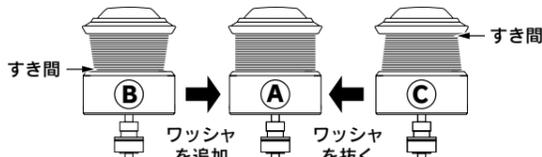
ツメの下側から糸を通して固定して下さい。



■糸巻形状の調整方法

初期設定は下記それぞれの種類で下図Aのようにフラットになるように設定されています。巻き上げテンションは、3号(12lb)以下のナイロン、フロロラインが約160g、3.5号(14lb)以上のナイロン、フロロラインが約300g、そしてPEラインは2号以下が約500g、2.5号以上が約1kgです。PEラインは十分テンションをかけて巻き上げて下さい。スプールに巻かれた糸に、爪が食い込まない事が目安です。又、下記以外の号数の糸巻容量は「仕様」をご覧ください。

品番	糸の種類	巻容量	品番	糸の種類	巻容量
3000サイズ	ナイロン 3号	150m	6000サイズ	PE 3号	300m
4000サイズ	ナイロン 4号	150m	8000サイズ	PE 4号	300m

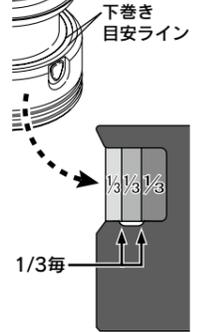


●調整方法
上記の基準より直径の細いラインを使用すると上図Bの形状となり、逆に太い糸を使用するとCの形状となります。極端なB(逆テーパ)形状やC(順テーパ)は、ともにライントラブルの原因となります。付属のスプール調整ワッシャーで、A(=フラットテーパ)に巻き上げて下さい。調整方法は下記の通りです。
B形状の場合… 付属の調整ワッシャーを0.25mmから追加して少しずつ増やしていき、Aの形状に近づけて下さい。
C形状の場合… 付属の調整ワッシャーを0.25mmから少しずつ減らしていき、Aの形状に近づけて下さい。
付属しているスプール調整ワッシャーは、0.25mmが2枚、0.5mmが2枚です。尚、使用糸の特性(堅さ、編み方、表面コートの有無等)によって、同じ号数(lb数)でも、糸巻容量や糸巻形状が変化します。
※出荷段階では、基準ラインを使用した場合は特にA(=フラットテーパ)に巻き上げるための調整は必要ありません。

■下巻き目安ラインの利用方法

スプールには下巻きに便利な下巻き目安ラインを全糸巻容量の1/3毎に付けました。使用する糸が少なく下巻きする必要のある場合、一つの目安として参考にして下さい。

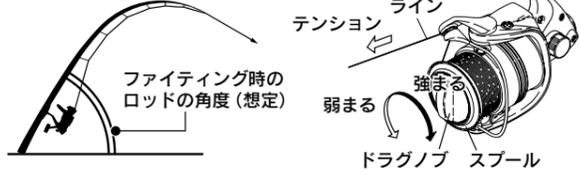
(例) C3000にPE1号 (AR-C) を150m巻く場合。
PE1号の全糸巻容量は400mです。全糸巻容量400mを3(区画)で割ると、約133mです。
3区画分で合計400m、1区画分で約133mのPE1号を巻くことができます。つまり、2区画分である外側の目安ラインまで下巻きすると、残り、PE1号が約133m巻ける計算になります。
巻こうとする150mより17m少なく巻ける訳ですので、下巻きは外側の目安ラインより若干少なめにしても、下巻きにナイロンラインを使われる時の注意
「仕様」の糸巻容量よりも細いナイロンラインを使用すると、スプールが変形することがあります。



■ドラッグの調整方法

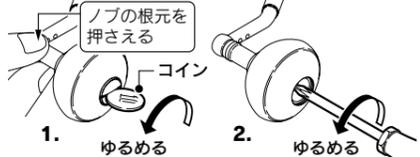
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ(ラインブレイク)を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通して下さい。
2. ストッパーレバーを「ON」の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらドラッグノブの締め付けを調節して下さい。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出して下さい。また、ドラッグ力は「実用ドラッグ力」の範囲で設定して下さい。



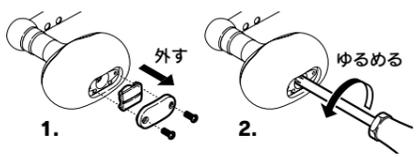
■ハンドルノブの取り外し方〔3000/4000サイズ〕

1. ノブの根元を手で押さえながら、コインでハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



■ハンドルノブの取り外し方〔6000/8000サイズ〕

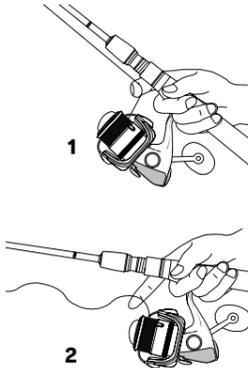
1. ネジ2本をゆるめて、ハンドルノブ銘板とハンドルキャップを外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



使用中のご注意

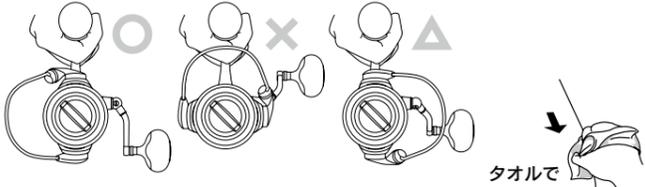
■キャスト方法

ベールを完全に起こし、図1のように人差し指に糸を引っかけて下さい。竿を振りかぶって、人差し指に感じる糸のテンションが最大になる時に、人差し指から糸を解放します。(図2) その際、ドラッグ力が低すぎると、スプールが逆転し指を切る可能性があります。ご注意ください。キャスト後、ベールを手で戻すか、ハンドルを正転させて(ハンドルオートリターン)巻き取りに入ってください。尚、ハンドルオートリターンの際、ハンドルを逆す勢が強過ぎると、ベールが戻り切らない場合があります。



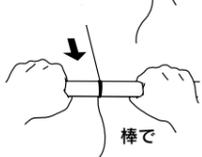
■キャストポジション

図の「x」の位置で思い切り投げると、ベールが戻って糸が切れる可能性があります。「△」の位置はキャスト後、ハンドルオートリターンしにくい場合があります。※完全にベールを開いてキャストして下さい。トラブルの原因となることがあります。



■根掛かりした時の対処方法

根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状のものに糸を巻き付けてゆっくと引っ張るようにして下さい。ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。



■移動時のご注意点

タックルバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。特に、塩入ワームを本体に密着させたまま保管されると、腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で、密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に放置されると腐蝕を起こす可能性があります。



■落下にご注意下さい。

リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがありますのでご注意ください。(右図)

■水中での使用は出来ません。

水中での使用には対応していません。絶対におやめください。